

第七の要因：キリストのからだの実際のためのブレンディング

聖書：ローマ 12:5. I コリント 6:17. 12:24, 31 後半. 13:1-8 前半. 10:17.

レビ 2:4. エペソ 3:16-17 前半. 4:16

I. 神のエコノミーの最高峰は、キリストのからだの実際です。キリストのからだの実際は、完全に有機的なものです——ローマ 8:2, 6, 10-11. 12:4-5 :

A. 使徒パウロの完成する務めは、完全にキリストのからだに焦点づけられています。特に、ローマ人への手紙、コリント人への第一の手紙、エペソ人への手紙、コロサイ人への手紙においてそうです。からだは神の継続的な働き of 究極的な項目です。ですから、からだは神の啓示全体の最高点です——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12-13, 18-22. エペソ 1:22-23. 2:16. 3:6. 4:4, 12, 15-16. 5:23, 30. コロサイ 1:18, 24. 2:19. 3:15.

B. ローマ第 12 章は、有機的な結合の角度から、からだについて語っています。5 節は、「わたしたちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり」と言っています :

1. この節の「キリストの中で」は、有機的な結合を示します。「キリストの中で」は、有機的な結合の事柄です——参照、ヨハネ 3:16. ローマ 6:3-6. 11:17, 19. 16:7-10. I コリント 1:30. II コリント 2:17. 5:17. 12:2. ガラテヤ 3:27.
2. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、キリストと有機的な結合を持っています。この結合は、わたしたちをキリストと、またキリストのからだの他のすべての肢体と、命において一にならせます。わたしたちはこの有機的な結合の中にとどまるとき、実はキリストのからだの中に生きているのです——ローマ 8:16. I コリント 6:17. II テモテ 4:22. ローマ 8:4-6.
3. キリストのからだの実際は、わたしたちがキリストとの有機的な結合の中にとどまることにあります。ヨハネ第 15 章 1 節から 11 節は、キリストがまことのぶどうの木であり、わたしたちが彼の枝であることを啓示しています。わたしたちはキリストの枝として、キリストの中に住まなければなりません。それは、わたしたちがキリストとの有機的な結合の中にとどまることを意味します——ヨハネ 15:4-5. 参照、8:31. 15:7.

II. 主の回復はキリストのからだの建造のためです。こういうわけで、からだを認識することは、主の正常な回復です——I コリント 12:27. エペソ 4:16. コロサイ 3:15 :

A. 召会はキリストのからだをその有機的な要因としています。キリストのからだがないければ、召会は命がなく、単なる人の組織にすぎません——I コリント 1:2. 12:12-13, 27.

B. からだが、召会の内在的な意義です。からだがなければ召会は意味をなしません。また、何の意義もありません——ローマ 12:4-5. 16:1, 4, 16.

- C. 愛は覆い、建造します。ですから、キリストのからだを建造するために、わたしたちが何であっても、何を行なっても、愛が最も卓越した道です——I コリント 8:1 後半. 12:31 後半. 13:1-8 前半, 13。
- D. 長老は互いに牧養し合い、愛し合って、からだの生活の模範となるべきです。長老は互いに愛し合う必要があります、彼らの妻は互いに愛し合う必要があります、彼らは互いの子供たちを愛し合う必要があります——ヨハネ 21:15-17. I コリント 13:4-8 前半。
- E. わたしたちはキリストのからだの実際を持つとするとするなら、キリストにわたしたちの心の中に、ご自身のホームを造っていただかなければなりません。からだの実際は、内住するキリストを内側で経験することです——エペソ 3:16-17 前半. 4:16. コロサイ 1:27. 3:4, 15。
- F. 主が緊急に必要としていることは、キリストのからだの実際が諸地方召会において表現されることです。からだが十分に表現されなければ、主イエスは再来しません——エペソ 1:22-23. 4:16. 5:27, 30. 啓 19:7。
- G. 主が必要としていることは、勝利者たちが神のエコノミーを完成し、キリストのからだを得て、彼の敵を滅ぼすことです。勝利者たちがいなければ、キリストのからだは建造されることができません。そして、キリストのからだは建造されなければ、キリストは再来して彼の花嫁を迎えることができません——エペソ 1:10. 3:10. 啓 12:11. 19:7-9。

III. 主の回復はシオンを、すなわち勝利者を建造することです。彼らはキリストのからだの実際として、新エルサレムにおいて究極的に完成します。わたしたちは召会生活の中で、力を尽くして今日のシオンに到達しなければなりません——エペソ 1:22-23. 4:16. I コリント 1:2. 12:27. 啓 14:1. 21:2 :

- A. 聖なる都エルサレムの顕著な部分また麗しさはシオンです。このシオンは勝利者を予表します。この勝利者は、召会の高嶺、中心、引き上げるもの、強めるもの、豊かにするもの、麗しさ、実際です——詩 48:2, 11-12. 50:2. 20:2. 53:6 前半. 87:2。
- B. エルサレムは召会全体を予表しますが、シオンは召会の勝利者を予表します。旧約がシオンとエルサレムの間関係について語るときはいつも、エルサレムの特徴、命、祝福、確立が、シオンから来ることをわたしたちに見せています——列王上 8:1. 詩 51:18. 102:21. 128:5. 135:21. イザヤ 41:27. ヨエル 3:17。
- C. 新エルサレムは、勝利者たちの総合計です。主の信者たちの残された者 [レムナント]、すなわち、初期の勝利者たちは、千年間にわたってキリストの花嫁となります (啓 19:7-9. 20:4-6)。その後、彼らは主の信者たちの残りの者、すなわち、後期の勝利者たちと一緒にあって、キリストの妻となり、永遠に至ります (21:2-3, 7) :
 1. 初期の勝利者たちは、エルサレムの中のシオンの実際、すなわち、召会の中のキリストのからだの実際であり、彼らの心にはシオンへの大路があります。彼らは、十字架につけられたキリスト (彼らの避け所のための巣としての青銅の祭壇によって予表されている) を通して、また昇天の中にある復活のキリスト (彼らの安息のためのホームとしての香壇によって予表されている) を通して、彼らの住まいとしての神の中へと合併されることによって、内側で召会の道を受け入れます——詩

48:2. 84:3-5. 参照、箴 27:8。

2. 勝利を得ることの意味は、わたしたちが自分よりも、わたしたちの魂の命よりも主を愛することです。キリストのからだの実際のために、勝利者はただキリストだけを知り、愛します——ピリピ 3:10. 4:12. 啓 2:4-5, 7. 12:11。
3. 主が待ち望んでいるのは、一群れの勝利者たちが復活の中でキリストのからだの実際を生かし出し、キリストの花嫁となって、彼の再来をもたらし、彼の王国時代をもたらすことです。このために、わたしたちは次のように祈る必要があります、「主よ、どうかわたしがあなたのあわれみと恵みを受けて、あなたの勝利者の一人になりますように」。

IV. 神はからだを調和させられました（I コリント12:24）。「調和（ブレンディング）される」という言葉は、「調整される」、「調和一致される」、「調節される」、「混ぜ合わされる」ことを意味し、それは区別を失うことを暗示します：

- A. キリストのからだの実際のためにブレンディングされようとするなら、わたしたちは十字架を経過し、その霊により、キリストを他の人に分与して、キリストのからだを建造しなければなりません。
- B. ブレンディングが意味することは、わたしたちがいつでも立ち止まって、他の人と交わりを持つべきであるということです。わたしたちは自分と組み合わされている他の聖徒たちと交わることなしに、何も行なうべきではありません。なぜなら、交わりはわたしたちを調整し、わたしたちを調和一致させ、わたしたちを調節し、わたしたちを混ぜ合わせるからです——参照、エゼキエル 1:12 とフットノート 1。
- C. ある責任者の兄弟たちのグループは常々共に集まっていますが、ブレンディングされていないかもしれません。ブレンディングされることの意味は、わたしたちが十字架を経過し、その霊によって物事を行ない、あらゆる事をキリストのからだのために行なって、キリストを分与することによって、わたしたちが他の人に触れるということと、わたしたちが他の人に触れるということです。
- D. このようなブレンディングは、交際ではなく、個々の肢体、地域の諸召会、同労者、長老が享受し、経験し、あずかっているキリストのブレンディングです——参照、I コリント 1:9。
- E. わたしたちは使徒の足跡に従い、すべての聖徒をキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたらす必要があります。使徒は、推薦とあいさつによってわたしたちをキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたらしめました。それは、平安の神がサタンをわたしたちの足の下に踏み砕いて、わたしたちがキリストの豊かな恵みを享受するためです——ローマ 16:1-16, 21-23, 20：
 1. ブレンディングの目的は、わたしたちすべてをキリストのからだの実際の中へともたらすことです。わたしたちは手続きとしての地方召会の中において、目標としてのキリストのからだの実際の中へともたされる必要があります。
 2. 主の回復の最高峰は、真に、実際に、真実に神のエコノミーを遂行することができ、それは神が物質的に多くの地方召会を生み出すためではなく、彼の有機体としての有機的なからだを生み出すためです。

3. 召会が一つパンであるというパウロの思想は（I コリント 10:17）、彼自身の発明ではありませんでした。そうではなく、それは旧約聖書の穀物のささげ物から取られました（レビ 2:4）。穀物のささげ物の小麦粉のあらゆる部分は油と混ぜ合わされました。それがブレンディングです。
4. ほとんどだれもブレンディングについて語りません。なぜなら、これは非常に高くても深いだけでなく、また非常に奥義的であるからです。それは物質的な事柄ではありません。わたしたちのブレンディングの意義は、キリストのからだの実際です。
5. ブレンディングは、キリストの宇宙的なからだを建造して（エペソ 1:23）、神の大いなる喜びにしたがって（エペソ 3:8-10. 1:9-10）、神のエコノミーの最終的な目標である新エルサレム（啓 21:2）を究極的に完成するためです。

V. 神の心の願いは、イエスにあるあの実際、すなわち、四福音書に記録されているイエスの神・人の生活が、キリストのからだの多くの肢体の中で、実際の霊によって複製され、キリストのからだの実際、すなわち、神のエコノミーの最高峰となることです——エペソ4:20-24, 3-4 :

- A. キリストのからだの実際は、実際の霊、すなわち、わたしたちの霊とミングリングされたイエスの霊です。イエスの霊は、イエスにあるあの実際、イエスの神・人の生活を含んでいます——ヨハネ 16:13. 使徒 16:7. ローマ 8:16. I コリント 6:17. ペリピ 1:19-21 前半。
- B. わたしたちはミングリングされた霊の中で生きるとき、実際の霊によって、イエスにあるあの実際にしたがって、四福音書における彼の模範にしたがって、キリストを学びつつあります。それによって彼の伝記は、わたしたちの歴史となります。新しい人としてのキリストのからだの生活は、四福音書に啓示されたイエスの生活と、完全に同じであるべきです——エペソ 1:17. 2:22. 3:5, 16. 4:23. 5:18. 6:18. ガラテヤ 6:17-18. ローマ 1:1, 9. ペリピ 2:5。
- C. キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。彼らは真の人ですが、彼らの命によって生きるのではなく、手順を経た神の命によって生きます。神の属性は、彼らの美德を通して表現されています——ペリピ 4:5-9。
- D. キリストのからだの実際は、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る神・人が、キリストの復活の中で、三一の神と永遠の結合においてミングリングしている生活です——レビ 2:4-5. 詩 92:10. I コリント 12:12. 10:17 :
 1. わたしたちが「ミングリングしている」という言葉を用いるのは、この生活がなおも進行中であるからです。
 2. このようなミングリングしている生活は、キリストの復活の中にあります。そして、この復活の実際はその霊です。この復活は、究極的に完成された神を信者たちの中へと分け与え、死に打ち勝つ命を解き放って信者たちの中へともたらしめます。
- E. 成就された神・人によるこの団体の、ミングリングしている生活は、新しい天と新しい地における新エルサレムにおいて究極的に完成し、神の増し加わりまた表現となって永遠に至ります——啓 21:2-3, 9 後半-11, 22。

